

2008.7.1



医療教育開発センター ニューズレター

徳島大学大学院
ヘルスバイオサイエンス研究部
医療教育開発センター

1 巻頭言

センター長 安井 夏生

2 センター概要

3 仮移転のお知らせ

4 取組紹介

5 平成19年度の主な活動紹介

6 平成20年度の活動・予定



1 巻頭言



ご挨拶

医療教育開発センター長 安井 夏生

医療教育開発センターの活動も4年目に入りすっかり軌道にのりました。医・歯・薬・栄養・保健の大学院共通科目のe-learning化は全て完了し、今後はその維持・更新をどうするか、共通科目以外にどこまでe-learning化を広げるか、な

どが課題となっています。スキルスラボの運営も定着し、専任のインストラクターを配置することにより、より確かな臨床技能を身につけることができるようになりました。今や臨床技能の習得の第一段階としてスキルスラボは蔵本キャンパスに欠かせない存在となっています。第4期工事にともない医療教育開発センターとともにスキルスラボも仮移転いたしました。すこしスペースに余裕ができ、使いやすくなりましたので皆様のご利用をお待ちしています。第4期改修工事が完成すると医療教育開発センターは臨床研究棟1階に最終移転いたします。より充実したスキルスラボが完成するものと楽しみにしています。

本年も学長裁量経費の支援を得て小豆島のリゾートホテルで「大学院リトリート」を行います。分野を超えた大学院生と若手研究者が自由な雰囲気情報交換することにより、徳島大学でしかできないような共同研究が生まれることを期待します。ふるってご参加ください。

このところ蔵本キャンパスでは外部資金の獲得が低調であることが指摘されています。個々の分野が努力することが大切なのはいうまでもありませんが、分野横断的な研究、教育が求められているのも事実です。医療教育開発センターそのものが単独で外部資金を申請するのではなく、分野横断的なプロジェクトの立案、運営にかかわることが本来の役割と考えておりますのでお気軽にご相談ください。

2 センター概要

平成16年のヘルスバイオサイエンス研究部発足を機に、医療人育成教育改革を充実させ、全人的医療が実践できる人間愛にあふれた医療人を育成するための専門的な研究・支援機関として「統合医療教育開発センター」が設置されました。学部教育だけでなく、大学院教育・卒業後教育まで一貫とした医療人育成教育の取組を目指しており、医療系学部・学科の枠を越えて多彩な医療分野の教員を活用して、人間性・社会性・倫理性などを身につけ、他職種を理解し、医療の対象者や共に働く人々に尊敬の念をもてる人材を養成するための共通科目・共同実習カリキュラムを導入します。

平成18年12月に「医療教育開発センター」と改名し、医療人育成教育の研究を通じて人間愛にあふれた医療人を育成し地域医療に貢献するだけでなく、世界の指導的な医療人を育成することを目指しています。

3 仮移転のお知らせ

当センターならびに臨床技能学習施設（スキルスラボ）は、平成20年4月28日に共通講義棟へ仮移転いたしました。建物の東側半分を使用し、1階北側に事務室、南側には会議スペースを持つスキルスラボⅠ、2階を人体模型等を配置したスキルスラボⅡとして配置し、事務室、スキルスラボともに以前よりスペースが広くなりました。特にスキルスラボⅡでは、救命救急の講習会等が開催できるような広さを確保しています。

開発センター案内図▶



4 取組紹介

特集

■臨床技能学習施設

臨床技能学習施設（スキルスラボ）とは、臨床技能を学習する施設のことを言い、世界中の医療機関で、臨床技能教育を効果的に行なうために、臨床場面を再現した各種の模擬的環境を学習者に提供し、卒前・卒後の教育プログラムや自己学習の中で活用することが広く行なわれています。このような環境で実技実習を行うことは、患者さんと学習者の安全を両立するためにも、一層重要となっており、日本でも平成15年前後から医療系大学にて施設が設置されはじめました。

本学でも平成15年に、各種の人体模型を用いて採血、導尿、縫合、心肺蘇生など様々な練習を行うことができるような施設として、医学部に設置され、翌年から当センターが管理運営を引き受ける形で、対象を医学部のみならず、歯学、薬学部および学外研修医にも拡大し、医療人の臨床技能向上に寄与しています。

この度の仮移転では、1階、2階合わせて280㎡の広さを確保しており、大人数での講習会にも対応できる環境になりました。来年度には改修を終えた臨床研究棟1階に移転する予定で、面積もさらに拡大され、日本有数の施設となります。

さらに、4月からはインストラクターを配置し、シミュレーターの使用方法の指導等、学習者の支援を行う環境も提供できるようになりました。インストラクターは、模型と学生と教員の間を調整して円滑な実習を支援する重要な役割を持っていますが、様々な事情により我が国で専任管理者などを配置しているのは慶應義塾大学や東京医科大学など数校に限られています。現在は、週2日（水・木）の午後という限りのある勤務体制ですが、対応時間の拡大も検討しており、実習や自己学習等について協力が可能となりますので、ぜひご相談ください。

今後、各学部や附属病院だけでなく、関連病院とも協力し、地域に開かれた臨床技能修練施設として運営および拡充整備に努めてまいります。皆様のご要望や積極的な活用をお待ちしております。



利用方法（医療教育開発センターにて手続きを行ってください。）

対象：本学医療系学生・研修医・教職員、その他センター長が認めたもの。

利用の流れ ※事前に空き状況をご確認ください。

事前に使用申込書兼報告書を提出⇒鍵・物品の受取り⇒利用⇒鍵・物品の返却⇒使用申込書兼報告書に記載
鍵の受け渡し：平日9：00～16：00（休日・夜間の利用は事前にご相談下さい。）

インストラクターの紹介 ▶▶▶ 特任助教 武田さおり（勤務日：水・木午後）



4月からスキルスラボのインストラクターとして勤務している武田です。学生の医療教育に携わり、共に日々勉強中の毎日です。以前は徳島大学病院などで看護師として約12年間勤務し、その後看護教育にかかわりたいと思い看護学校で教員として勤務していました。去年、非常勤講師として本学医学科生の手洗い等の実技実習の授業を担当し、学生のみならず医療関係者のスキル向上、新人教育における実技トレーニングなどの重要性を改めて認識しました。今後、インストラクターとして、講習会、研修などにも取り組んでまいりたいと思いますのでよろしくお願ひします。

スキルラボ管理物品一覧

模擬診察指導評価システム

模擬診察

- * 診察机
- * 患者用椅子

編集機器

- * パソコン
- * テレビ
- * VHS / DVD レコーダー

臨床技能指導システム

コードレス聴診教育システム

- 聴診波形表示装置
- 縫合練習キット
- スーチャーチューター (縫合・CD)
- 採血・静脈注射トレーナー
- 卓上多本架遠心機
- 実習用生物顕微鏡
- 眼底鏡
- 耳鏡
- 血圧計
- 心電図
- 手洗いチェッカー
- テルフージョン輸液ポンプ



シミュレーター教材

- 母性総合シミュレーター
- 心音シミュレーター
- 呼吸音聴診シミュレーター
- 術後急性状況患者観察ケアモデル
- 小児医療ケアモデル
- ハートシム ACLS トレーニングシステム
- レサシアン
- リトルジュニア 4 体入
- ALS ベビートレーナー
- AED リトル・アントレーニングシステム
- AED レーナー
- 新生児シミュレーター (未熟児)
- 沐浴等多目的実習用新生児人形
- 新生児挿管モデル
- 骨盤部トレーナー (男・女)
- 乳癌教育用視触診モデル
- 導尿モデル (男・女)
- 殿筋注射説明模型
- 上腕部筋肉注射説明模型
- 耳の診察シミュレーター
- 眼底診察シミュレーター
- 鼻腔・喉頭断面模型 / 鼻腔・喉頭模型



喉頭模型 / 喉頭声帯模型

- 外傷モデル (本体+顔のみ)
- トラウマモジュール・メイクキャップキット
- シリコンレシテーター成人用
- アンブ挿管練習モデル
- CVCシミュレーター
- BTLS 外傷セット
- チョーキングチャーリー
- 吸引シミュレーター Q ちゃん
- フィジカルアセスメントモデル Physiko
- 腰椎・硬膜外穿刺シミュレーター



自己学習システム

- プロジェクター (プレゼン用)
- ノートパソコン (プレゼン用)
- 自己学習用ノートパソコン
- シミュレーターソフト
- * 呼吸器 X 線像読影システム
- * 呼吸・循環動態シミュレーター
- * 看護過程・看護診断シミュレーター

その他

- 製本機



e-Learning

社会人大学院生への支援の一環として開始され、昨年度末には本学で初めて e-learning 視聴による受講者にも単位が認定されました。今年は対面講義の出席者も e-learning サイトのオンラインでレポートを提出することが必須となっていて、その利用範囲はますます広がってきています。

今後は、e-learning 化するコンテンツを拡大し、履修生以外の人にも利用してもらえるよう検討していきます。

FD (Faculty Development) の支援

大学設置基準などでの FD 義務化に伴い、徳島大学でも各学部の FD 委員会を中心に計画・実施を行っており、当センターでは、蔵本地区で実施されている FD について、調整・支援を行っています。

この度、e-learning システムで視聴して参加認証ができるよう、HBS の全教員を対象とした新たなサイト「e-Learning for Faculty Development」を立ち上げました。(ログイン用 ID、パスワードは医療教育開発センターまでお問合せください。) 皆さまご活用ください。



サイトのトップページ
(<http://150.59.246.74/fd/login.php>)

模擬患者の養成、派遣



模擬患者 (SP)

模擬患者 (SP) とは一定の訓練を受けて患者と同じような症状や会話を再現し、患者役を演じる人のことをいい、全国で多くの医療教育の現場に導入されています。近年、医学科だけでなく歯学部や保健学科でも OSCE (客観的臨床能力試験) が導入され、十分な訓練を重ねた模擬患者は今や不可欠の存在となっています。

本学では、一般ボランティア約 15 名が医学部・歯学部・薬学部で活動して下さっており、各学部の授業や OSCE への参加に備え、定期的な勉強会も行っています。

最近の主な活動

医 学 科 : OSCE (3 月) 医学科 4 年 98 名・SP 6 名

(5 月) 医学科 6 年 101 名・SP 9 名

授 業 (4 月) 症例学の講義・医学科 5 年 97 名・SP 1 名

…代表の学生が、SP を問診する形式で効果的な授業となりました。

歯 学 部 : OSCE (9 月) 参加に向けて練習中

薬 学 部 : 授 業 (7 月) 参加に向けて練習中

保健学科 : OSCE (9 月) 予定

大学院リトリート - Tokushima Bioscience Retreat

本年も学長裁量経費の支援を得て、大学院リトリートの開催 (9 月 18 日(木)~20 日(土)) を行うことが決定しました。現在、今年の世話人役である中馬先生と伊藤先生 (薬科学教育部) を中心に準備を進めているところです。例年に増して素晴らしい交流が行われることを期待しています。

■現代GP(H18～20年度)「医療系学生の保育所実習による子育て支援」

～医療職(医師、看護師)を目指す学生の人間力を高める～

最終年度である今年度は歯学部、薬学部への拡大を図りました。児童館の体験実習では各学部をとりまぜた混合グループ編成とし、学部の垣根をこえた学習の機会としています。

<実施状況>

- ・平成18年度 医学科 20名による「医学入門選択コース」内でのトライアル実施
- ・平成19年度 全学共通教育科目として本格実施。医学科 95名、保健学科看護学専攻 70名が受講。
(徳島大学平成19年度前期共通教育賞受賞)
- ・平成20年度 全学共通教育科目として、前期は医学科 42名(後期 53名受講予定)、保健学科看護学専攻 67名、歯学部 1名、薬学部 2名が受講。



学内
演習
4回

地域の保育所実習
週1回3時間5週
園児と1対1交流

振り
中
間
返
り

地域の保育所実習
週1回3時間4週
園児と1対1交流

振り
返
り

子育て支援体験実習(児童館) 1回
(AM:乳幼児と保護者、PM:学童)
医学科、保健学科、歯学、薬学混合グループ構成

当プログラムでは、気持ちを察する感性やコミュニケーション能力、自己肯定感、役立ち感、そして責任感を養い医療人としての基盤形成を目指すとともに、健康な子どもを理解するという専門準備教育も目指します。過去2年の調査では学生にこれまでの講義や学内演習では見られなかった態度変容が認められています。

また、学生と地域との交流は保育現場や児童館に様々な活気をもたらし、地域貢献の一端を担っているともいえるでしょう。補助金事業終了後どのような形で当プログラムを継続すべきか検討を進めています。



5 平成19年度の主な活動紹介—H19年4月～H20年3月—

- H19年 6月28日 第2回 CV(中心静脈穿刺)講習会
7月12日 副センター長着任(羽地氏、滝口氏、寺尾氏、山野氏)
9月20日～22日 Tokushima Bioscience・COE Retreat
10月4日 徳島大学現代GP講演会「乳幼児との交流実習」～医学生と乳幼児との交流実習の実際～
10月20日 第26回医学教育セミナーとワークショップ in 徳島
10月23日 第3回 CV(中心静脈穿刺)講習会
11月21日 東京大学医学教育国際協力研究センター視察訪問受け入れ(平成19年度アフガニスタン医学教育プロジェクト本邦研修)
11月26日 副センター長着任(小野氏)
- H20年 1月22日 現代GP公開講座インストラクショナルデザイン入門「インストラクショナルデザイン(ID)の原理」紹介
2月23日 徳島大学現代GP「医療系学生の保育所実習による子育て支援」シンポジウム
2月22日～23日 徳島大学現代GPコミュニケーション能力を高めるセミナー「すてきなあなたになるために」

6 平成20年度の活動・予定

- H20年 6月19日 第4回 CV(中心静脈穿刺)講習会
7月10日 第1回腰椎穿刺講習会
9月18日～20日 Tokushima Bioscience Retreat
10月頃 第5回 CV(中心静脈穿刺)講習会
12月13日 徳島大学現代GP「医療系学生の保育所実習による子育て支援」シンポジウム

医療教育開発センターニューズレター Vol.2 2008.7.1

編集・発行 徳島大学大学院HBS研究部医療教育開発センター
〒770-8503 徳島市蔵本町3丁目18番地の15

TEL: 088-633-9104 / FAX: 088-633-9105

ホームページ: <http://healthbio.basic.med.tokushima-u.ac.jp/tougou/>